



乗鞍岳のライチョウ (撮影: 楠田哲士)



ライチョウの母親と雛 (撮影: 中村浩志)

岐阜県博物館移動展・飛騨高山まちの博物館  
夏の特別展

絶滅から救え!

# ぎふの鳥 ライチョウ



飛騨志に描かれたライチョウ (部分) (所蔵: 飛騨高山まちの博物館)



高等学校に保管されていた戦前のライチョウの剥製 (所蔵: 岐阜県博物館)



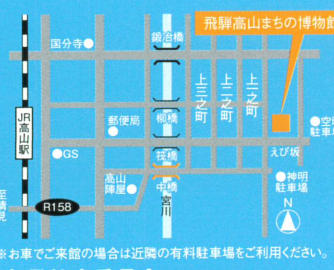
厳冬期にオオシラビンの根元で休むライチョウの雄 (撮影: 中村浩志)



飛騨騎鞍嶺雪鳥之図 (所蔵: 飛騨高山まちの博物館)

令和5年 7月15日 土 ⇒ 10月1日 日

◆時間 9:00 ~ 19:00 (休館日なし)  
◆会場 飛騨高山まちの博物館  
2階 特別展示室  
岐阜県高山市上一之町75番地  
Tel: 0577-32-1205  
Fax: 0577-35-1970  
https://www.city.takayama.lg.jp/machihaku/  
入館無料



※お車で来館の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。

岐阜県博物館学芸講座(講演会)  
「岐阜県民は県の鳥  
“ライチョウ”が嫌いなのか？」

講師: 楠田 哲士 (岐阜大学応用生物科学部 教授)  
◆日時 令和5年8月27日(日) (13:30~15:00)  
◆会場 岐阜県博物館けんぱくホール  
◆定員 120名  
※入場無料 但し、本館入館には入館券が必要です。  
※要申込み ホームページまたは  
電話(0575-28-3111)にて  
7月27日から受付



ギャラリートーク  
講師: 岐阜県博物館学芸員  
◆日時 8月11日(金)、9月16日(土) (各日13:30~14:00)  
◆会場 飛騨高山まちの博物館2階 特別展示室



岐阜県博物館移動展・飛騨高山まちの博物館  
夏の特別展

# 絶滅から救え! ぎふの鳥 ライチョウ

岐阜県は、標高3,000メートルを超える飛騨山脈から木曾三川が流入する濃尾平野まで、地域によって気候や地形に大きな差があり、多種多様な生物が見られます。なかでも、ライチョウは、御嶽、乗鞍岳及び飛騨山脈に生息し、岐阜県の豊かな自然を象徴する鳥です。

現在、ライチョウは絶滅の危機にあり、さまざまな方法で保全活動が行われています。そのなかで、乗鞍岳に生息するライチョウが中央アルプスの個体群の復活に貢献するなど、重要な役割を果たしています。

本移動展では、標本や江戸時代に描かれた絵図など、岐阜県博物館と飛騨高山まちの博物館が所蔵するライチョウに関する資料を数多く紹介します。この機会に、絶滅の危機にあるライチョウの現状を知り、私たちは何ができるのか考えましょう。

## 展示内容

### ぎふの鳥 ライチョウ

①雷鳥のおみやげ

### 描かれたライチョウ

①吉宗に献上された乗鞍岳のライチョウ

### ライチョウのなかま

- ①ライチョウ属
- ②ライチョウ亜科

### ライチョウのすみか

- ①ライチョウの巣
- ②えさとなる高山植物

### 新たな脅威と保全活動

- ①温暖化
- ②新たな天敵と大型哺乳類の侵入
- ③ライチョウ復活作戦
- ④ライチョウ用飼料の開発
- ⑤岐阜県の取り組み

### 理科室のライチョウ

- ①高等学校にあったライチョウの剥製
- ②ライチョウの剥製の値段



中央アルプス産のライチョウの剥製 (所蔵: 長野県宮田村立宮田小学校)

問い合わせ先

GIFU PREFECTURAL MUSEUM  
**岐阜県博物館**

Tel : 0575-28-3111 (代) Fax : 0575-28-3110  
<https://www.gifu-kenpaku.jp/>



岐阜県博物館  
ホームページ

**飛騨高山まちの博物館**

Tel : 0577-32-1205 Fax : 0577-35-1970  
<https://www.city.takayama.lg.jp/machihaku/>



飛騨高山  
まちの博物館  
ホームページ